




第75期 業務報告書

“がんばる”あなたを応援します！！
 一関信用金庫

ごあいさつ	… 3
一関信用金庫について	… 4

I. 令和5年度決算サマリー

1. 収益状況（損益計算書）	… 5
2. 前期比要因分析	… 6
3. 主要勘定残高（貸借対照表）	… 7

II. 令和5年度業績の概要

1. 直近3か年の推移	… 8
2. 貸出金の状況	… 9
3. 預金積金の状況	… 10
4. 有価証券の状況	… 11
5. 自己資本の状況	… 12
6. 不良債権の状況（金融再生法開示債権）	… 13

III. トピックス

1. 庶務の概要	… 14
2. 令和5年度の主な取組	… 15～16

IV. 今後の事業展開

1. 中期経営計画「信頼の礎2025」	… 17
2. 令和6年度事業計画（アクションプランマップ）	… 18

その他

1. 第75期 令和5年度 貸借対照表	… 19
2. 第75期 令和5年度 損益計算書	… 20



巖美溪（一関市）

会員の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型引下げによって社会経済活動の正常化が進み、サービス需要、インバウンド消費などの回復がみられました。一方、地政学的リスクの増大や内外金利差を起因とする円安局面によって、輸入産品を中心とした物価の上昇圧力が続いております。管内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、回復基調にあります。物価上昇によるコストの価格転嫁や人材確保の優劣によって企業業績に差が出ており、その度合いはまだら模様となっております。

このような現況を踏まえ、当金庫は未来永劫、地域に必要とされる金融機関であり続けることを目指し、「リレーションシップの追求」「お客さまの課題解決に向けた取組」「金融仲介機能の発揮と地域社会全体の成長に向けた取組」を経営戦略とした中期経営計画「信頼の礎2025」（令和4年度～令和6年度）の2年目として、重点取組事項を設定のうえ、各種施策に取り組みました。

今後もお客さまが抱えている課題に応じた適切な解決策を提案し、この地域に根ざす金融機関として積極的に金融仲介機能を果たしてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

理事長 **菅原 一由**

一関信用金庫の概要

<令和6年3月31日現在>

- 創立……………昭和23年7月16日
- 出資金……………7億4千1百万円
- 預金残高……………2,429億円
- 貸出金残高……………935億円
- 会員数……………15,734名
- 本店所在地……………岩手県一関市幸町5番5号
- 店舗数……………16店舗
- 店舗外ATM……………9か所
- 役職員数……………197名
- 営業区域……………岩手県一関市・
奥州市・大船渡市・
陸前高田市・胆沢郡・
西磐井郡・気仙郡
宮城県気仙沼市（旧本吉町を
除く）・栗原市・登米市

経営理念（企業精神として未来永劫不変なもの）

1. 所期奉公（社会貢献）
2. 処事公明（コンプライアンスとオープンな経営）
3. 浮利不迫（社会的妥当性の判断）
4. 裾野金融（弱者支援）

基本方針（企業の目標）

1. 金融システムを通じて地域に円滑な資金供給を行い、金融サービスを通して地域経済の繁栄に寄与する。
2. 金融環境の変化に適応できる内部管理体制を構築し、事業を継続し続け、地域社会の安寧秩序を守る役割を果たす。
3. 役職員の幸せを通して、地域社会の繁栄と幸福に貢献し、堅実、健全な経営を行う。

クレド（行動指針）

1. 私たちは、地域社会の繁栄と幸福のために、金融業務を通じて何ができるかを常に考え、お客様に喜ばれる金融サービスを実践します。
2. 私たちは、常にお客様に対して感謝の気持ちを持って接し、「ありがとうございます」「おかげさまで」という気持ちを、言葉と行動で示します。
3. 私たちは、互いに助け合い、戒めあい、活気ある明るい職場を作ります。

I. 令和5年度決算サマリー 1. 収益状況 (損益計算書)

- コア業務純益は、人事制度改定に伴う経費（人件費）の増加などにより、前期比126百万円減少しました。
- 当期純利益は、経費の増加や債券関係の損失計上により、前期比219百万円減少しました。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和4年度	令和5年度	増減
業務粗利益	2,497	1 2,224	▲273
資金利益	2,325	2,330	5
役務取引等利益	17	44	26
その他業務利益	155	▲149	▲305
経費	1,923	2,070	146
一般貸倒引当金繰入額(▲)	4	31	27
業務純益	569	2 122	▲447
コア業務純益	444	3 318	▲126
除く投資信託解約損益	444	318	▲126
臨時損益	▲294	3 ▲203	90
うち不良債権処理額	▲290	▲199	90
うち株式等関係損益	0	9	9
経常利益	275	4 ▲80	▲356
特別損益	▲0	74	74
法人税、住民税及び事業税	88	48	▲39
法人税等調整額(▲)	18	▲3	▲21
当期純利益	167	5 ▲51	▲219

令和5年度決算のポイント

① 業務粗利益

・資金利益、役務取引等利益ともに前期から増加したものの、債券関係損益を▲163百万円計上したことなどから、その他業務利益が前期比▲305百万円となり、前期比273百万円減少し、2,224百万円となりました。

② 業務純益

・①業務粗利益の減少に加え、人事制度改定に伴う人件費の増加（前期比+117百万円）を主因に経費が増加（同+146百万円）したことから、前期比447百万円減少し、122百万円となりました。

③ 臨時損益

・臨時収益が減少（前期比▲5百万円）したものの、個別貸倒引当金の減少（前期比▲105百万円）などにより臨時費用も減少したため、前期比90百万円減少し、203百万円の損失となりました。

④ 経常利益

・経費の増加や債券関係の損失が響いたうえ、前期から減少したものの与信関連費用の計上もあり、前期比356百万円減少し、▲80百万円となりました。

⑤ 当期純利益

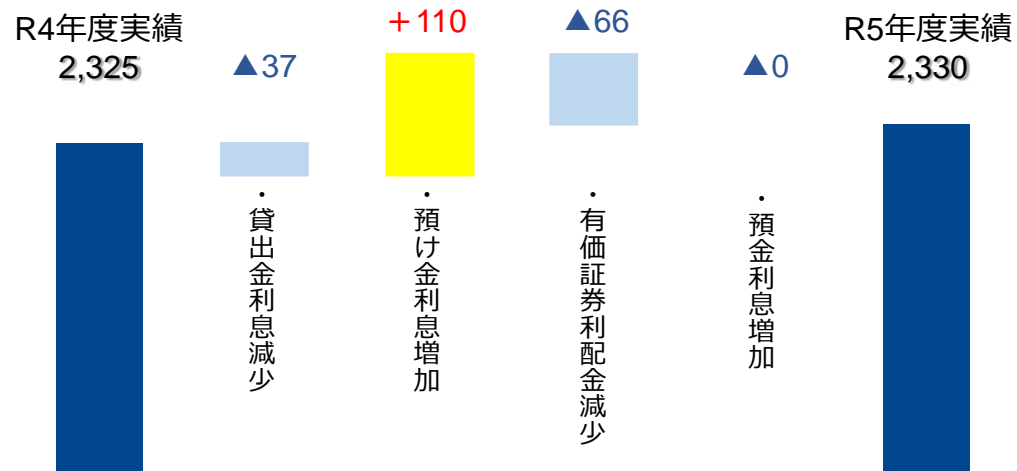
・上記の結果、前期比219百万円の減益となり、▲51百万円となりました。

I. 令和5年度決算サマリー 2. 前期比要因分析

- 貸出金利息と有価証券利息配当金は減少した一方、預け金利息が増加し、資金利益は前期比5百万円増加しました。
- 資金利益、役務取引等利益ともに増加したものの、債券関係の損失計上によりその他業務利益が大幅に減少し、業務純益は減少しました。

資金利益

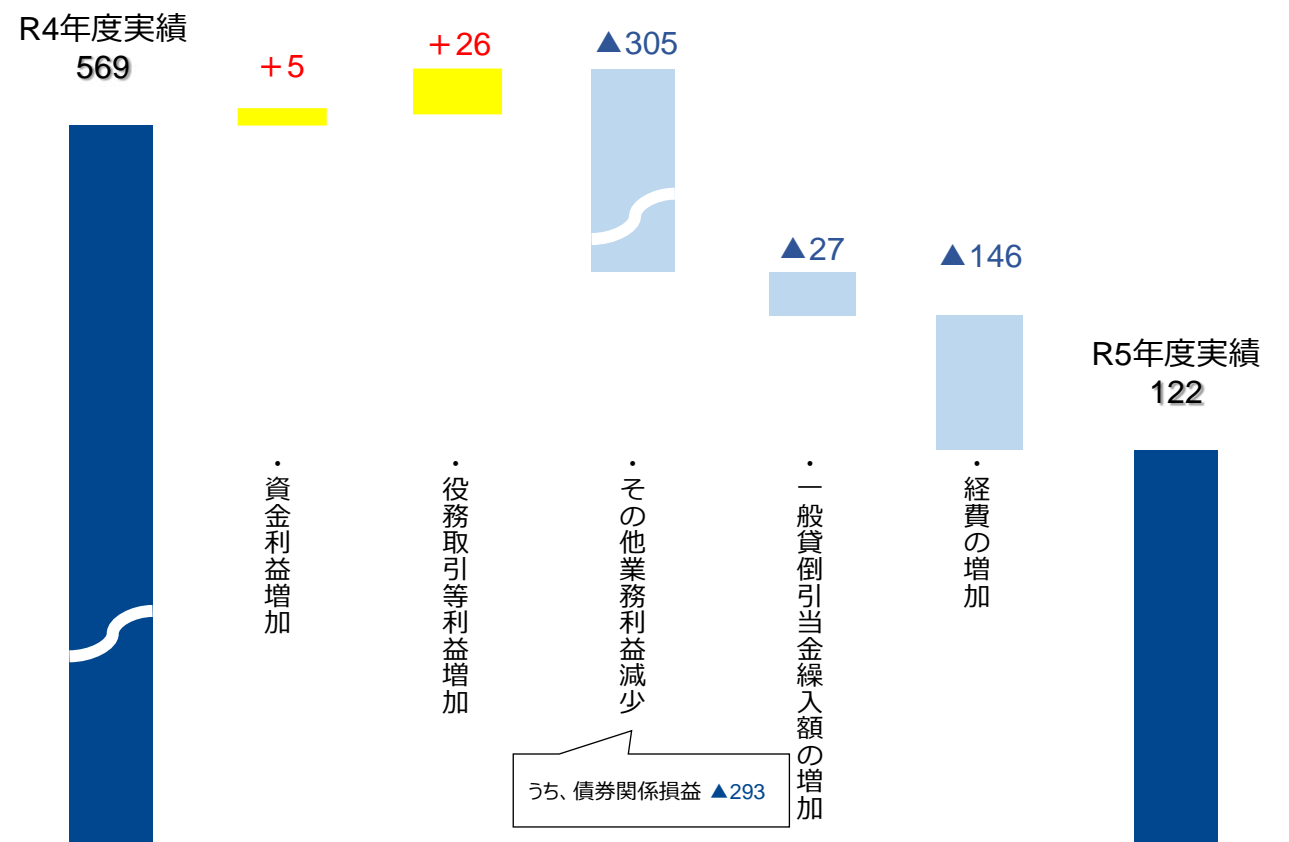
(単位：百万円)



科目	令和4年度	令和5年度	増減
資金利益	2,325	2,330	5
資金運用収益	2,352	2,357	5
うち貸出金利息	1,469	1,431	▲37
うち預け金利息	94	205	110
うち有価証券利息配当金	765	698	▲66
資金調達費用	27	27	0
うち預金利息	27	27	0
うち借用金利息	-	-	-

業務純益

(単位：百万円)



※債券関係損益…国債等債券売却損益+国債等債券償還損益+国債等債券償却

I. 令和5年度決算サマリー 3. 主要勘定残高 (貸借対照表)

(単位：百万円)

科目	令和4年度	令和5年度	増減
(資産の部)			
現金	3,827	4,103	275
預け金	65,070	70,354	5,283
買入金銭債権	107	74	▲32
金銭の信託	—	—	—
有価証券	86,704	83,351	▲3,352
貸出金	95,063	93,516	▲1,546
その他	910	1,260	350
その他資産	471	503	31
有形固定資産	1,029	1,017	▲12
無形固定資産	43	48	5
前払年金費用	469	573	104
繰延税金資産	182	102	▲79
債務保証見返	630	538	▲91
貸倒引当金 (▲)	871	1,093	221
その他の引当金(▲)	—	—	—
資産の部 合計	253,638	254,352	713

詳しくは10ページ
をご覧ください。

詳しくは11ページ
をご覧ください。

詳しくは9ページ
をご覧ください。

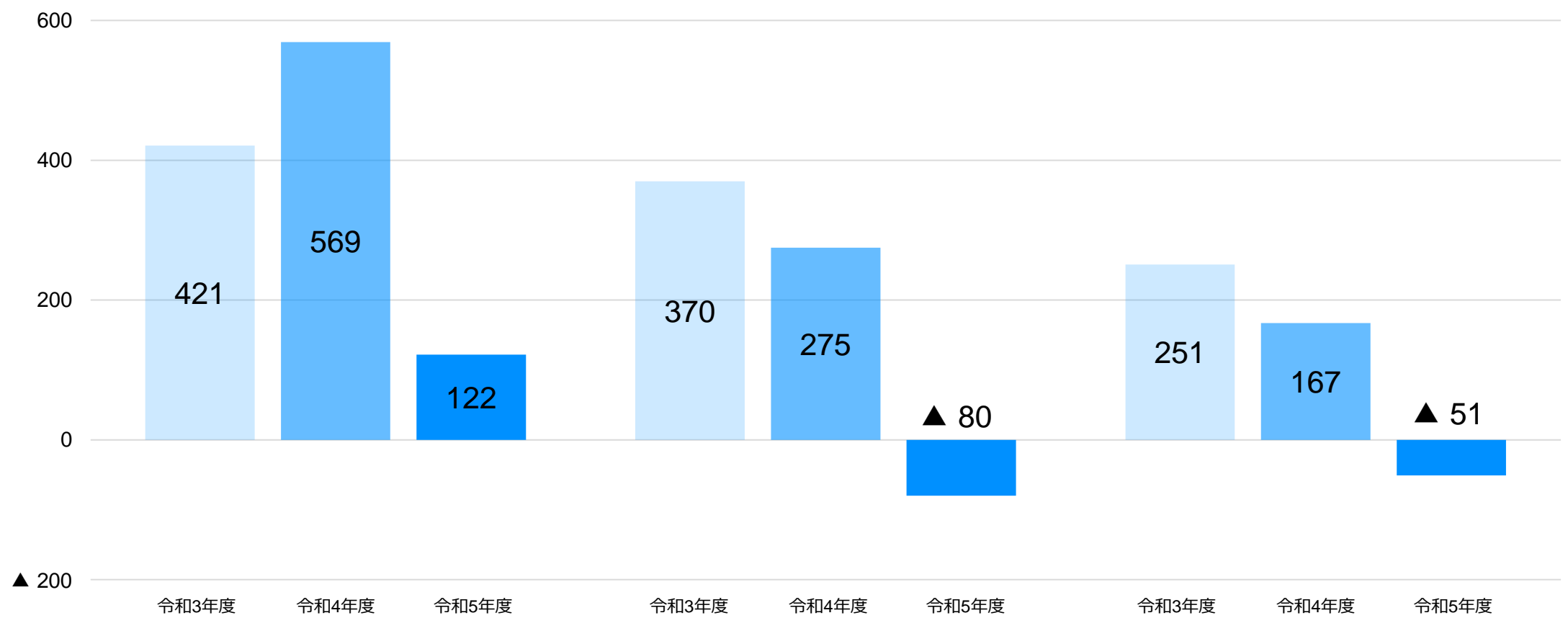
科目	令和4年度	令和5年度	増減
(負債の部)			
預金積金	242,189	242,955	766
借入金	—	500	500
その他負債	244	247	3
賞与引当金	—	87	87
役員退職慰労引当金	38	51	12
その他の引当金	26	25	▲1
繰延税金負債	—	—	—
債務保証	630	538	▲91
負債の部 合計	243,128	244,405	1,276
(純資産の部)			
出資金	749	741	▲7
利益剰余金	11,745	11,678	▲66
会員勘定合計	12,494	12,420	▲74
その他有価証券評価差額金	▲1,984	▲2,473	▲488
純資産の部 合計	10,509	9,947	▲562
負債及び純資産の部 合計	253,638	254,352	713

業務純益

経常利益

当期純利益

(単位：百万円)



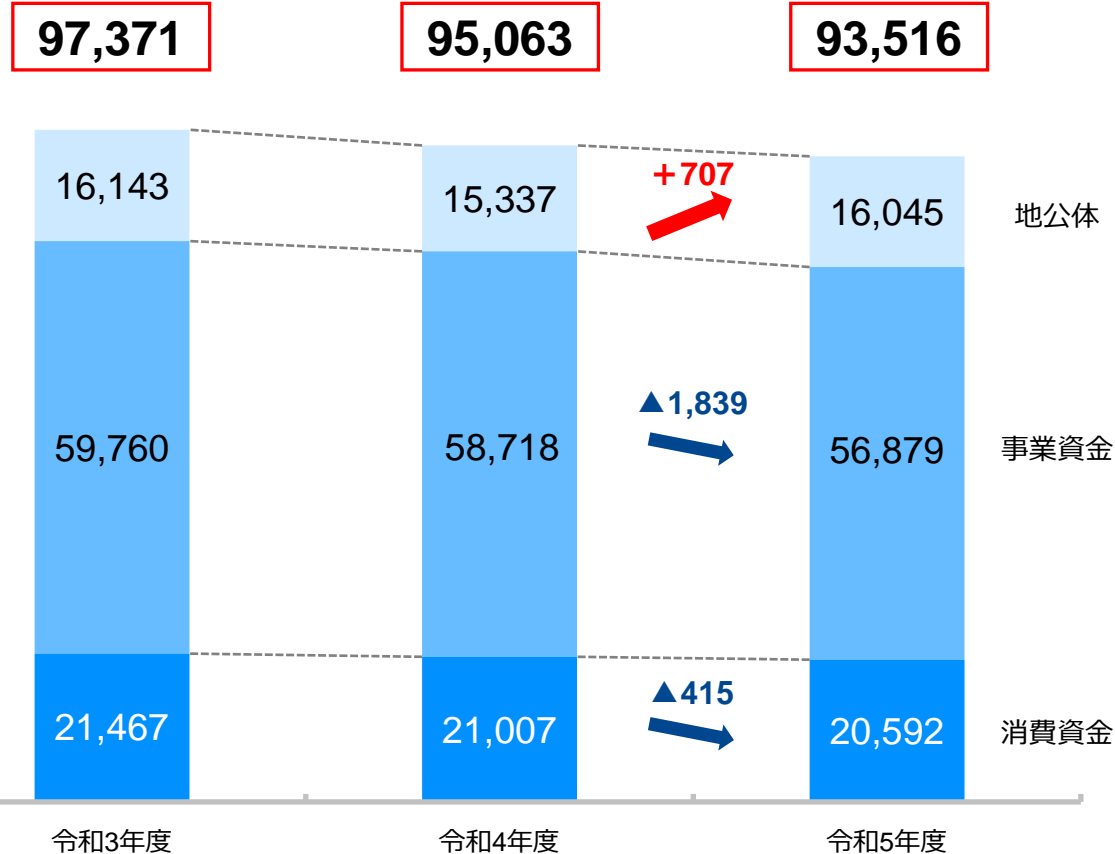
II. 令和5年度業績の概要 2. 貸出金の状況

- 地方公共団体向けは増加したものの、長期にわたるコロナ禍の影響や原油価格などの上昇により生産活動が弱含みで推移するとともに、節約志向が高まり個人および法人向け貸出が減少したことから、全体で前期比1,546百万円減少し93,516百万円となりました。

残高の内訳

(単位：百万円)

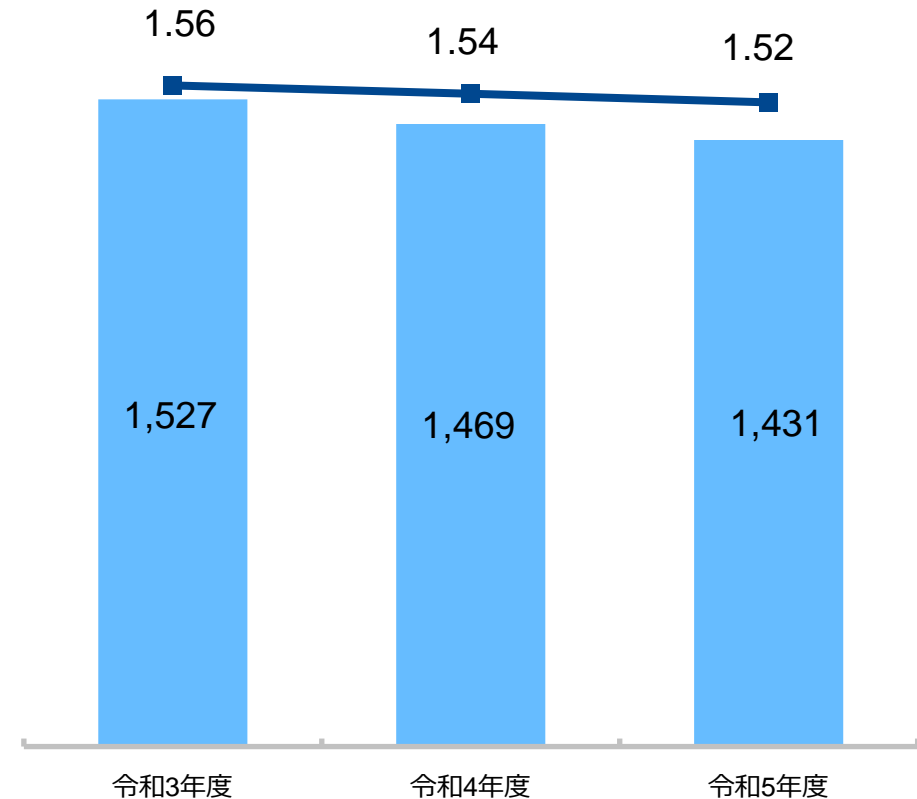
■ 消費資金 ■ 事業資金 ■ 地公体



利息・利回り

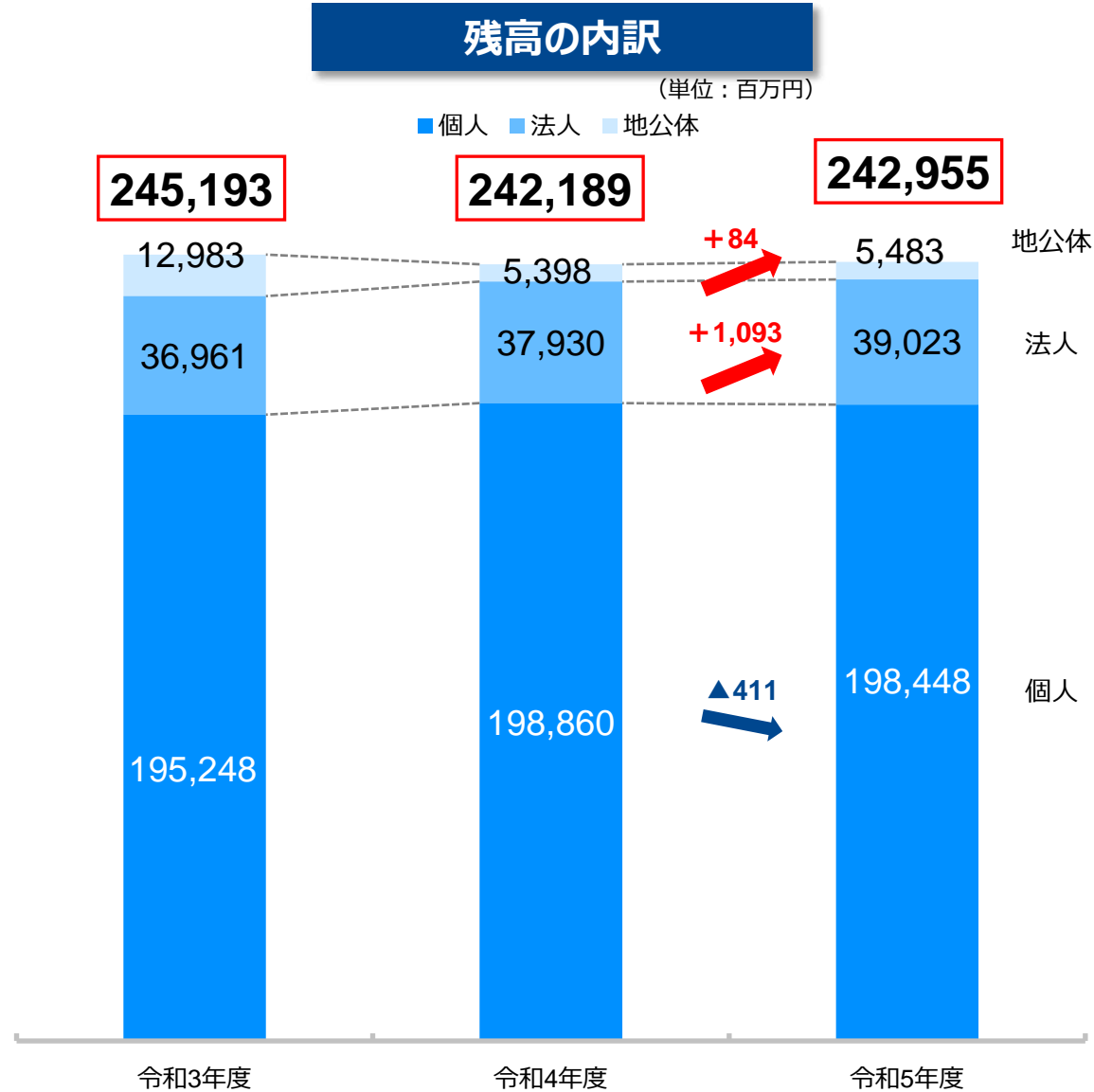
(単位：百万円,%)

■ 貸出金利息 ■ 貸出金利回り



Ⅱ. 令和5年度業績の概要 3. 預金積金の状況

● 相続などによる定期性預金の流出があったものの、個人および法人の要払性預金が増加したことから、全体で前期比766百万円増加し242,955百万円となりました。



預金商品のご案内



黄金 懸賞金付定期預金

懸賞本数 260本

今期4月1日(月)～今期9月30日(月)

1等賞 20名 10万円
2等賞 100名 10,000円
3等賞 200名 3,000円

懸賞金付定期預金「黄金」



いちしん 相続専用定期預金

～想いをつなぐ～

お取引期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

店頭表示金利
+0.02% +0.03% +0.05%

相続専用定期預金



しんきん 年金優遇定期預金

店頭表示金利に上乗せ!

0.10%

【お申し込み時のお取引日ごとの利用中のお振込み】

◎年寄優遇定期預金をご利用中に継続して当金庫で年金をお取り扱ったいただくことが条件となります。

年金優遇定期預金



退職金専用定期預金

当額お預入れから1年

上乗せ金利 年0.20%

当額お預入れから1年

上乗せ金利 年0.30%

退職金専用定期預金

● 詳しくは、お近くの店舗窓口・渉外担当者までお問い合わせください。店頭にて「商品概要説明書」をご用意しております。

II. 令和5年度業績の概要 4. 有価証券の状況

- 各国中央銀行の継続的な利上げによる市場金利の上昇や日本銀行の金融緩和政策の修正観測の高まりから、預け金での運用を進めた結果、有価証券残高は、前期比3,352百万円減少し83,351百万円となり、預け金残高は同5,283百万円増加し70,354百万円となりました。

残高の内訳

(単位：百万円)

科目	令和4年度		令和5年度	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	868	1.00%	818	0.98%
地方債	12,107	13.96%	9,520	11.42%
社債	57,580	66.41%	57,962	69.54%
外国証券	16,068	18.53%	14,972	17.96%
株式	34	0.03%	35	0.04%
その他	43	0.05%	42	0.05%
有価証券 合計	86,704	100.00%	83,351	100.00%

※「その他」は、優先出資証券です。

関係損益

(単位：百万円)

科目	令和4年度	令和5年度	増減
有価証券利息配当金	765	698	▲66
うち投資信託解約益	—	—	—
国債等債券関係損益	129	▲163	▲293
うち国債等債券売却益	262	151	▲110
うち国債等債券売却損 (▲)	132	315	182
うち国債等債券償還損 (▲)	—	—	—
株式等関係損益	0	9	9
うち株式等売却益	0	9	9
うち株式等売却損 (▲)	—	—	—

市場動向

	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
日経平均株価	27,821.43円	28,041.48円	40,369.44円
本邦国債10年	0.210%	0.320%	0.725%
米国国債10年	2.340%	3.470%	4.200%

※各年度の最終営業日における終値および利回りです。

昨年度、欧米は実体経済の回復が続き、中央銀行による金融引締めが断続的に行われました。本邦はそれに伴い円安局面が長期化し、輸入産品を通じた物価の上昇圧力が高まりました。昨年4月から日本銀行は植田和男総裁を中心とした体制となり、今年3月にはマイナス金利政策の解除が行われるなど、本邦でも「金利ある世界」が間近に迫っております。



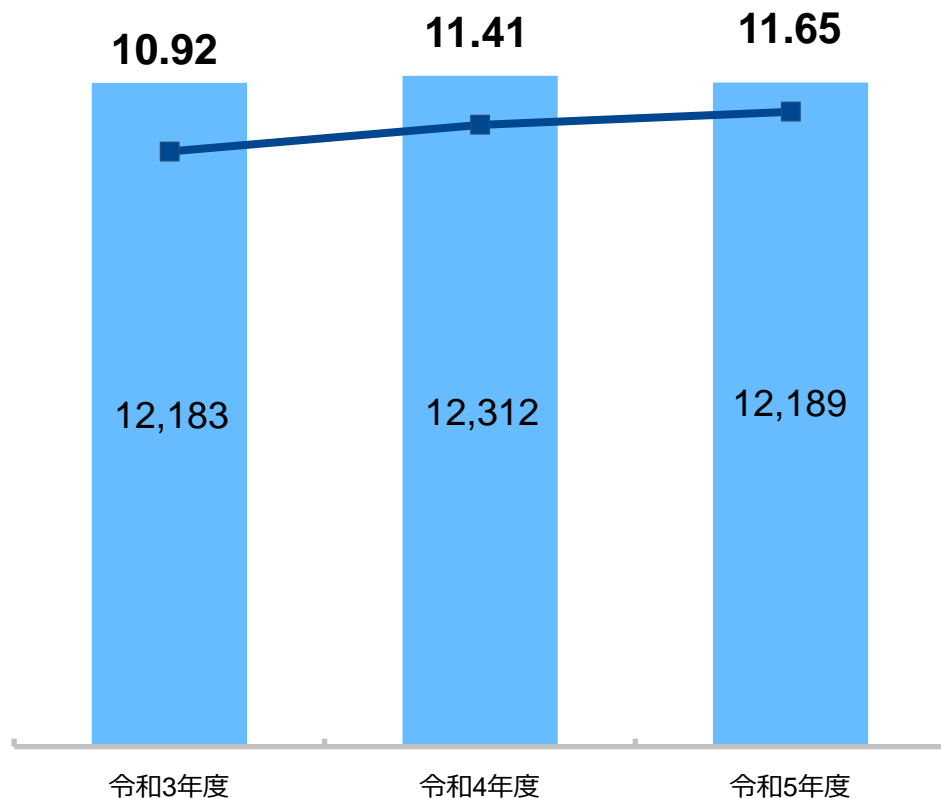
Ⅱ. 令和5年度業績の概要 5. 自己資本の状況

● 健全性を示す指標である自己資本比率は、前期比0.24ポイント上昇して11.65%となり、健全な経営を維持しております。

自己資本比率

(単位：百万円,%)

■ 自己資本の額 ■ 自己資本比率



自己資本の構成

(単位：百万円)

	令和4年度	令和5年度	増減
コア資本に係る基礎項目の額	12,683	12,640	▲43
うち、出資金及び資本剰余金の額	749	741	▲7
うち、利益剰余金の額	11,745	11,678	▲66
うち、外部流出予定額 (▲)	14	14	▲0
うち、上記以外に該当するものの額	▲0	-	0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	204	234	30
コア資本に係る調整項目の額	370	450	79
自己資本の額	12,312	12,189	▲123
リスク・アセット等の額の合計額	107,868	104,625	▲3,243

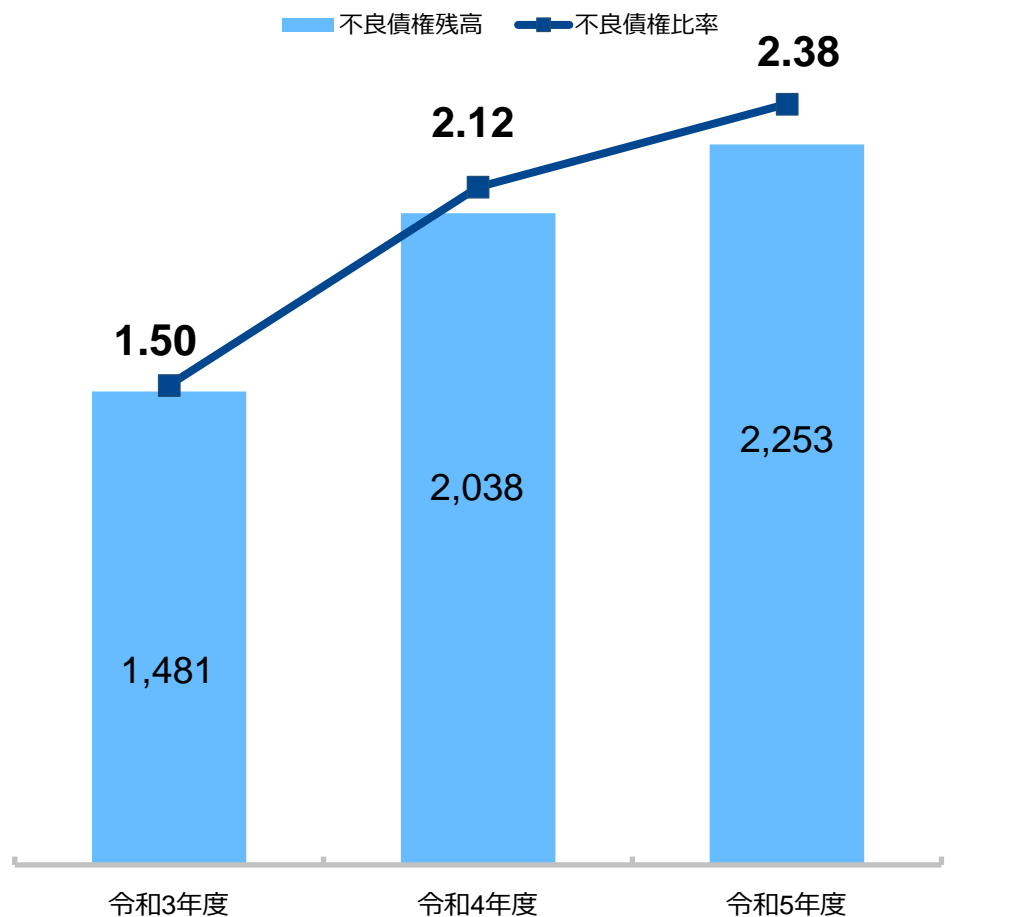


Ⅱ. 令和5年度業績の概要 6. 不良債権の状況 (金融再生法開示債権)

- 不良債権比率は、不良債権総額（分子）が前期比214百万円の増加となる一方、債権総額（分母）は同1,609百万円減少したため、前期比0.26ポイント上昇して2.38%となりました。

金融再生法開示債権残高・不良債権比率

(単位：百万円,%)



	令和4年度	令和5年度	増減
与信関連費用	298	231	▲66
一般貸倒引当金繰入額	4	31	27
不良債権処理額	294	199	▲94
個別貸倒引当金繰入額	295	189	▲105
貸出金償却	—	—	—
貸出金売却損	4	—	4
偶発損失引当金	▲2	12	14
償却債権取立益	▲3	▲2	0
貸倒引当金戻入益	—	—	—

	令和4年度	令和5年度	増減
開示不良債権	2,038	2,253	214
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	433	751	318
危険債権	1,522	1,429	▲92
要管理債権	82	71	▲10
正常債権	93,872	92,048	▲1,823

Ⅲ.トピックス 1.庶務の概要

第75期通常総代会

令和6年6月14日、一関市山目字三反田179、ベリーノホテル一関において第75期通常総代会を開催し、次の事項について報告および付議いたしました。

(1) 報告事項

・第75期業務報告、貸借対照表及び損益計算書並びに附属明細書の内容報告の件

(2) 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 総代候補者選考委員選任の件
- 第3号議案 任期満了に伴う理事8名選任の件
- 第4号議案 任期満了に伴う監事3名選任の件
- 第5号議案 退任理事に対する退職慰労金贈呈の件
- 第6号議案 所在不明会員の除名の件

(3) 報告事項

・店舗戦略について

※以上の議案について原案どおり承認可決されました。

(単位：円)

当期末処分剰余金	579,520,167
積立金取崩額	—
剰余金処分数額	14,800,034
利益準備金	—
普通出資に対する配当金（年2%）	14,800,034
特別積立金	—
繰越金（当期末残高）	564,720,133



本総代会において報告された第75期事業年度の計算書類（貸借対照表、損益計算書）は、19ページから20ページに掲載しております。

庶務事項

令和5年8月9日……一関市、独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校、一関商工会議所と「一関市における地方創生の推進に係る包括連携に関する協定」を締結いたしました。

令和5年10月10日…地主町支店を移転し、駅前支店の店舗内店舗といたしました。

登記事項

令和6年4月5日…令和6年3月31日現在における出資の総口数1,483,435口および総額741,717,500円への変更登記。

令和6年10月11日…地主町支店の移転に伴う住所の変更登記。



● 地域金融機関として、地域貢献を念頭に各種施策の取り組みました。

DXの取組

令和5年8月9日に一関市、一関商工会議所、一関工業高等専門学校と4者で「一関市における地方創生の推進に係る包括連携に関する協定」を締結しました。その枠組みのなかで「スマホ教室」を主催し、今年度も開催します。

■ 一関市における地方創生の推進に係る包括連携協定



「一関」の名を冠した4者の連携によって、一関市における地方創生の推進および市民サービスの向上を図ります。



一関高専の学生の技術を使って、ホームページ、PR動画の作成など、地域内の個人・中小事業者の課題解決を図るねらいもあります。

■ スマホ教室



デジタル・デバイド（格差）の解消に向け、一関市、一関高専発のスタートアップ企業「Next IWATE」と連携して実施。訪問型の形式が好評を博しました。今年度も5月1日から開催しており、多くのお申込みをいただいています。

脱炭素の取組

2050年までの脱炭素（カーボンニュートラル実現）に向けた取組を開始しました。今後は関連する融資商品の整備などを進めます。

■ 電気自動車「Xcentric-EV」導入



株式会社村上商会と一関高専が産学連携で開発を進める電気自動車「Xcentric-EV」（エキセントリックEV）の実証実験に参加しております。

山目支店の営業車として使用しており、位置情報を除く走行データを記録して株式会社村上商会に送り、今後の開発につなげています。今夏、改良された電気自動車も導入される予定です。

女性活躍推進の取組

■ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

①管理職（支店長・課長職以上）に占める女性職員の割合	11.8%（令和6年4月1日）	▶	15%以上（令和8年度）
②管理職（副支店長・副課長職以上）に占める女性職員の割合	25.9%（令和6年4月1日）	▶	30%以上（令和8年度）

左記行動計画の達成に向けたプロジェクトチームを組織し、提言をまとめました。



●当金庫は、「持続可能な社会の実現」を目指し、SDGsの達成に向けた取組を進めました。

SDGs達成に向けた取組

令和4年12月20日に損害保険ジャパン㈱と「SDGsに関する包括連携協定」を締結し、令和5年1月から「SDGs対応度簡易診断」の取扱いを開始しました。同年8月からは「SDGs宣言書」作成のサポートを含む「SDGsコンサルティングサービス」の取扱いを始め、ご好評をいただいております。今後も当金庫自体の取組に加え、お客さまにもSDGsの啓発を進めてまいります。

■ SDGsコンサルティングサービス

SDGs コンサルティングサービス

SDGsって最近よく聞くけどよく分からない...

SDGsって本業と何か関係があるの？

取り組もうにも何から始めればいいのか...

↓↓そんなときは一関信用金庫にご相談ください！！↓

お客さまとのヒアリングを通じて、「SDGs対応度簡易診断」を無料でを行います。取組状況を共有し、必要に応じて「SDGs宣言書」(有料)や各種ソリューションをご案内いたします。

「簡易診断チェックシート」を依頼したヒアリング実施

「簡易診断結果シート」を共有し、取組状況を共有

「簡易診断結果シート」を共有し、取組状況を共有

「SDGs宣言書」(有料)を作成し、PRいたします。

取組状況を共有

各種ソリューションのご案内

対外PRのご支援

一関信用金庫 本サービスの概要は裏面をご覧ください

SDGsへの関心が高まっており、特に建設業、運輸業など官公庁、大企業との取引が多い業界から引合いが強まっております。当金庫はSDGsを広く普及させる意味合いから、「SDGs宣言書」の作成手数料を11千円(税込)と割安に設定しております。



「SDGs宣言書」を作成いただいたお客さまには、同宣言書を木製フレームに格納してお渡ししております。

このフレームは、平泉町の有限会社小岩材木店(代表取締役 小岩 義典)さまのご協力で、作業工程において生じる廃材を利用して作成いただきました。

■ 地域社会への取組



「登米市佐沼夏祭り」への参加



一関夏まつり後の清掃活動



一関学院高「金融リテラシー教室」開催
※東北財務局盛岡財務事務所さまにご協力いただきました。

■ 地域貢献活動

昨年度、当金庫は一関市民憲章推進協議会表彰を拝受しました。永年(平成10年から)にわたる一関国際ハーフマラソン大会への協力を念頭に、一般社団法人一関体育協会からご推薦をいただいたものです。



■ お客さまの声

- ・「SDGs対応度簡易診断」の45項目を答える過程で、自社の取組状況を認識することができ、強みと弱みが明確化された。(運輸業)
- ・特別なことではなく、通常業務がSDGsにつながっていることが分かった。(製造業)
- ・業界としてSDGsに取り組んでいて、自社のウェブサイトにも特集ページを開設した。そこに今回策定した「SDGs宣言」を掲載して説得力を高めたい。(サービス業)



- 令和4年度から3か年の中期経営計画「信頼の礎2025」を策定し、役職員一同、ベクトルを合わせて業務に取り組んでおり、令和6年度は12のアクションプランのうち、5つを重点取組事項に設定しております。

ビジョン

お客さまとの信頼関係(リレーションシップ)を追求し、地域に根ざした協同組織金融機関として、会員、お客さま、そして地域が抱える課題の解決に尽力し、地域社会全体の成長に貢献する。

経営理念

- 所期奉公 (社会貢献)
- 処事公明 (コンプライアンスとオープンな経営)
- 浮利不追 (社会的妥当性の判断)
- 裾野金融 (弱者支援)

戦略1：リレーションシップの追求

戦略3：金融仲介機能の発揮と地域社会全体の成長に向けた取組

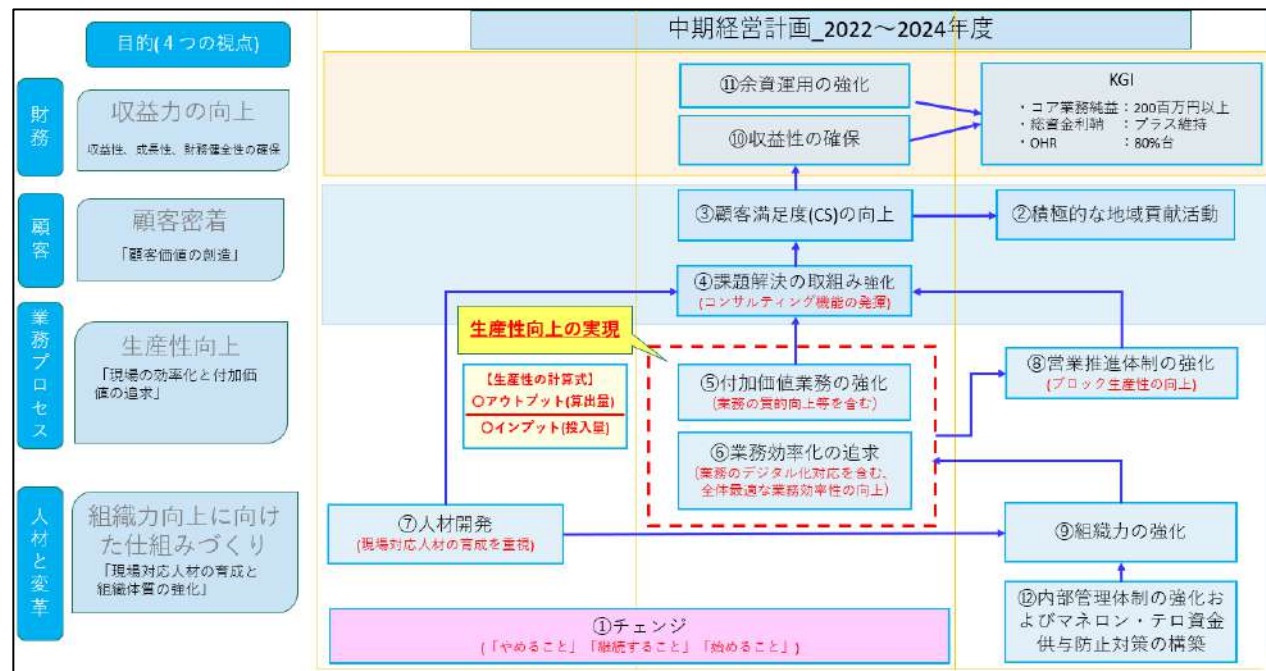
戦略2：顧客課題の解決に向けた取組

アクションプラン

左記のビジョンを基に、12のアクションプランを設定し、単年度の事業計画に落とし込んでいる。

◆ 令和6年度重点取組事項

- ④課題解決の取組強化、⑤付加価値業務の強化、⑥業務効率化の追求、⑦人材開発、⑧営業推進体制の強化、⑫内部管理体制の強化およびマネロン・テロ資金供与防止対策の構築





- 今年度は、さまざまな経営課題を抱えるお取引先に対し、資金繰り支援のフェーズから一歩進んだ解決策の提案など、地域課題解決に向けた取組を強化します。また、研修体制の構築、デジタルツールの導入など、職員が成長や働きがいを感じられる職場づくりに努めます。

②積極的な地域貢献活動



③顧客満足度の (CS) 向上



⑦人材開発

当金庫を支える人材への投資を引き続き行う



④課題解決の取組強化

お客さまが抱える様々な経営課題に対し、経営改善・事業再生支援に係る適切な解決策を提案する態勢づくりを主眼とする



⑤付加価値業務の強化

アウトプット（産出量）の増加を図るとともに、アウトカム（地域社会への効果）も考慮し、将来的な収益確保につながる取組を行う

⑫内部管理体制の強化 およびマネロン対策

対策が本格実施となることを踏まえ、経営陣の主導的な関与のもと、態勢整備と実務対応に金庫全体で取り組む

⑪余資運用の強化

⑩収益性の確保



K
G
I

- ・コア業務純益...200百万円以上
- ・総資金利鞘.....プラス維持

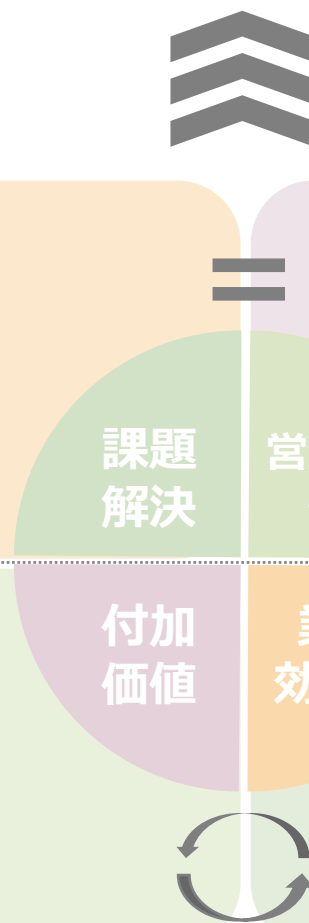
⑧営業推進体制の強化

⑥業務効率化の追求と同様に、設備の導入や業務の見直しによって営業推進体制特にリテール営業の効率化を図る



⑥業務効率化の追求

課題解決や付加価値業務の取組を強化するため、設備の導入や業務の見直しによって事務時間の短縮すなわちインプット（投入量）の減少をねらう



第75期 令和5年度 貸借対照表

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
	円		円
現 預 金	4,103,187,098	預 金 積 金	242,955,175,311
買 入 手 形	70,354,683,399	当 座 預 金	763,544,948
コ ー ル ロ ー ン	0	普 通 預 金	133,049,029,338
買 現 先 勘 定	0	貯 蓄 預 金	1,255,107,425
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	0	通 知 預 金	65,955,746
買 入 金 銭 債 権	74,935,529	定 期 預 金	99,360,311,546
金 銭 の 信 託	0	定 期 積 金	7,580,622,000
商 品 有 価 証 券	0	そ の 他 の 預 金	880,604,308
商 品 国 債	0	譲 渡 性 預 金	0
商 品 地 方 債	0	借 用 金	500,000,000
商 品 政 府 保 証 債	0	借 入 金	500,000,000
そ の 他 の 商 品 有 価 証 券	0	当 座 借 越	0
有 価 証 券	83,351,967,926	再 割 引 手 形	0
国 債	818,283,500	売 渡 手 形	0
地 方 債	9,520,449,573	コ ー ル マ ネ ー	0
短 期 社 債	0	売 現 先 勘 定	0
社 債	57,962,441,832	債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	0
株 式	35,277,021	コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	0
そ の 他 の 証 券	15,015,516,000	外 国 為 替	0
貸 出 金	93,516,980,877	外 国 他 店 預 り	0
割 引 手 形	502,341,359	外 国 他 店 借	0
手 形 貸 付	3,233,216,664	売 渡 外 国 為 替	0
証 書 貸 付	83,735,426,145	未 払 外 国 為 替	0
当 座 貸 越	6,045,996,709	そ の 他 負 債	247,592,950
外 国 為 替	0	未 決 済 為 替 借	91,786,205
外 国 他 店 預 け	0	未 払 費 用	60,185,249
外 国 他 店 貸	0	給 付 補 填 備 金	2,624,410
買 入 外 国 為 替	0	未 払 法 人 税 等	43,757,200
取 立 外 国 為 替	0	前 受 収 益	20,902,940
そ の 他 の 資 産	1,763,321,681	払 戻 未 済 金	5,118,500
未 決 済 為 替 貸	48,399,174	払 戻 未 済 持 分	11,226,500
信 金 中 金 出 資 金	1,260,200,000	職 員 預 り 金	0
前 払 費 用	0	先 物 取 引 受 入 証 拠 金	0
未 収 収 益	367,537,648	先 物 取 引 差 金 勘 定	0
先 物 取 引 差 入 証 拠 金	0	借 入 商 品 債 券	0
先 物 取 引 差 金 勘 定	0	借 入 有 価 証 券	0
保 管 有 価 証 券 等	0	売 付 商 品 債 券	0
金 融 派 生 商 品	0	売 付 債 券	0
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	0	金 融 派 生 商 品	0
リ ー ス 投 資 資 産	0	金 融 商 品 等 受 入 担 保 金	0
そ の 他 の 資 産	87,184,859	リ ー ス 債 務	0
有 形 固 定 資 産	1,017,335,523	資 産 除 去 債 務	0
建 物	392,500,179	そ の 他 の 負 債	11,991,946
土 地	472,913,083	賞 与 引 当 金	87,573,000
リ ー ス 資 産	0	役 員 賞 与 引 当 金	0
建 設 仮 勘 定	0	退 職 給 付 引 当 金	0
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	151,922,261	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	51,230,000
無 形 固 定 資 産	48,959,004	震 災 被 害 修 繕 引 当 金	0
ソ フ ト ウ ェ ア	33,230,411	そ の 他 の 引 当 金	25,182,037
の れ	0	特 別 法 上 の 引 当 金	0
リ ー ス 資 産	0	金 融 商 品 取 引 責 任 準 備 金	0
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	15,728,593	繰 延 税 金 負 債	0
前 払 年 金 費 用	573,373,754	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	0
繰 延 税 金 資 産	102,594,609	債 務 保 証	538,498,532
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 資 産	0	負 債 の 部 合 計	244,405,251,830
債 務 保 証 見 返	538,498,532	(純資産の部)	
貸 倒 引 当 金	△ 1,093,410,505	出 資 金	741,717,500
(うち個別貸倒引当金)	△ 879,290,740	普 通 出 資 金	741,717,500
そ の 他 の 引 当 金	△ 0	優 先 出 資 金	0
		優 先 出 資 申 込 証 拠 金	0
		資 本 剰 余 金	0
		資 本 準 備 金	0
		そ の 他 資 本 剰 余 金	0
		利 益 剰 余 金	11,678,658,167
		利 益 準 備 金	753,293,500
		そ の 他 利 益 剰 余 金	10,925,364,667
		特 別 積 立 金	10,345,844,500
		当 期 未 処 分 剰 余 金	579,520,167
		処 分 未 済 持 分	△ 0
		自 己 優 先 出 資	△ 0
		自 己 優 先 出 資 申 込 証 拠 金	0
		会 員 勘 定 合 計	12,420,375,667
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 2,473,200,070
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	0
		土 地 再 評 価 差 額 金	0
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 2,473,200,070
		純 資 産 の 部 合 計	9,947,175,597
資 産 の 部 合 計	254,352,427,427	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	254,352,427,427

第75期 令和5年度 損益計算書

科 目	金 額	額
経常収益		2,813,490,873 円
資金運用収益	2,357,920,485	
貸出金利息	1,431,475,100	
預け金利息	205,012,544	
買入手形利息	0	
コールローン利息	0	
買現先利息	0	
債券貸借取引受入利息	0	
有価証券利息配当金	698,543,940	
金利スワップ受入利息	0	
その他の受入利息	22,888,901	
役務取引等収益	276,276,779	
受入為替手数料	118,699,983	
その他の役務収益	157,576,796	
その他の業務収益	165,846,129	
外国為替売買益	0	
商品有価証券売買益	0	
国債等債券売却益	151,797,887	
国債等債券償還益	0	
金融派生商品収益	0	
その他の業務収益	14,048,242	
その他の経常収益	13,447,480	
貸倒引当金戻入益	0	
償却債権取立益	2,753,572	
株式等売却益	9,534,460	
金銭の信託運用益	0	
その他の経常収益	1,159,448	
経常費用		2,894,290,248
資金調達費用	27,672,147	
預金利息	25,762,659	
給付補填備金繰入額	1,909,488	
譲渡性預金利息	0	
借入金利息	0	
売渡手形利息	0	
コールマネー利息	0	
売現先利息	0	
債券貸借取引支払利息	0	
コマース・ペーパー利息	0	
金利スワップ支払利息	0	
その他の支払利息	0	
役務取引等費用	232,126,955	
支払為替手数料	10,166,993	
その他の役務費用	221,959,962	
その他の業務費用	315,574,019	
外国為替売買損	0	
商品有価証券売買損	0	
国債等債券売却損	315,132,094	
国債等債券償還損	0	
国債等債券償却	0	
金融派生商品費用	0	
その他の業務費用	441,925	
経常費用	2,082,856,454	
人件費	1,304,724,130	
物件費	707,692,563	
税	70,439,761	
その他の経常費用	236,060,673	
貸倒引当金繰入額	221,933,189	
貸出金償却	0	
株式等売却損	0	
株式等償却	0	
金銭の信託運用損	0	
その他の資産償却	238,138	
その他の経常費用	13,889,346	
経常利益		△ 80,799,375
特別利益		74,998,101
固定資産処分益	2,436	
負のれん発生益	0	
金融商品取引責任準備金取崩額	0	
子会社清算益	0	
その他の特別利益	74,995,665	
特別損		153,147
固定資産処分損	153,147	
減損損	0	
金融商品取引責任準備金繰入額	0	
その他の特別損	0	
税引前当期純損失		△ 5,954,421
法人税、住民税及び事業税	48,725,737	
法人税等調整額	△ 3,185,818	
法人税等合計		45,539,919
当期純損失		△ 51,494,340
繰越金(当期首残高)		631,014,507
当期未処分剰余金		579,520,167

一関図書館
ICHINOSEKI CITY LIBRARY
一関文化センター
ICHINOSEKI CULTURAL CENTER

●企画・編集●

〒021-0024 岩手県一関市幸町5番5号

TEL 0191-23-6111 (代表)

一関信用金庫総合企画部